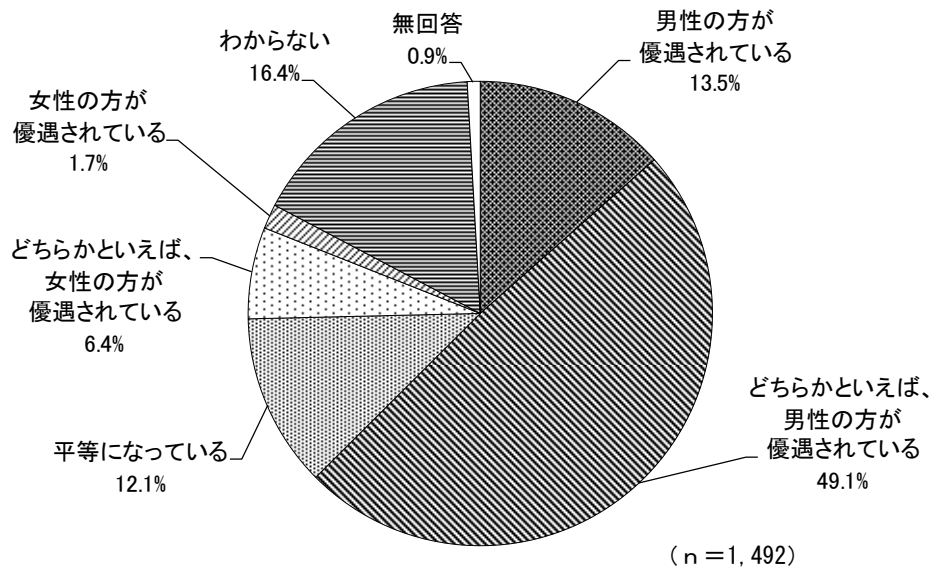


6 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

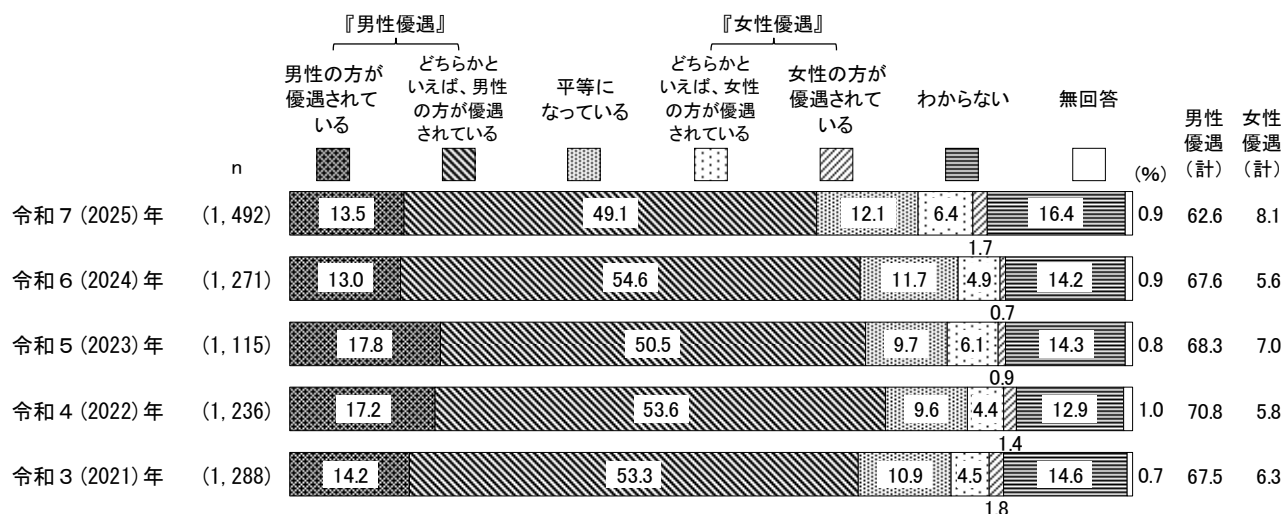
問15 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

1	男性の方が優遇されている	13.5%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	49.1
3	平等になっている	12.1
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	6.4
5	女性の方が優遇されている	1.7
6	わからない	16.4
	(無回答)	0.9



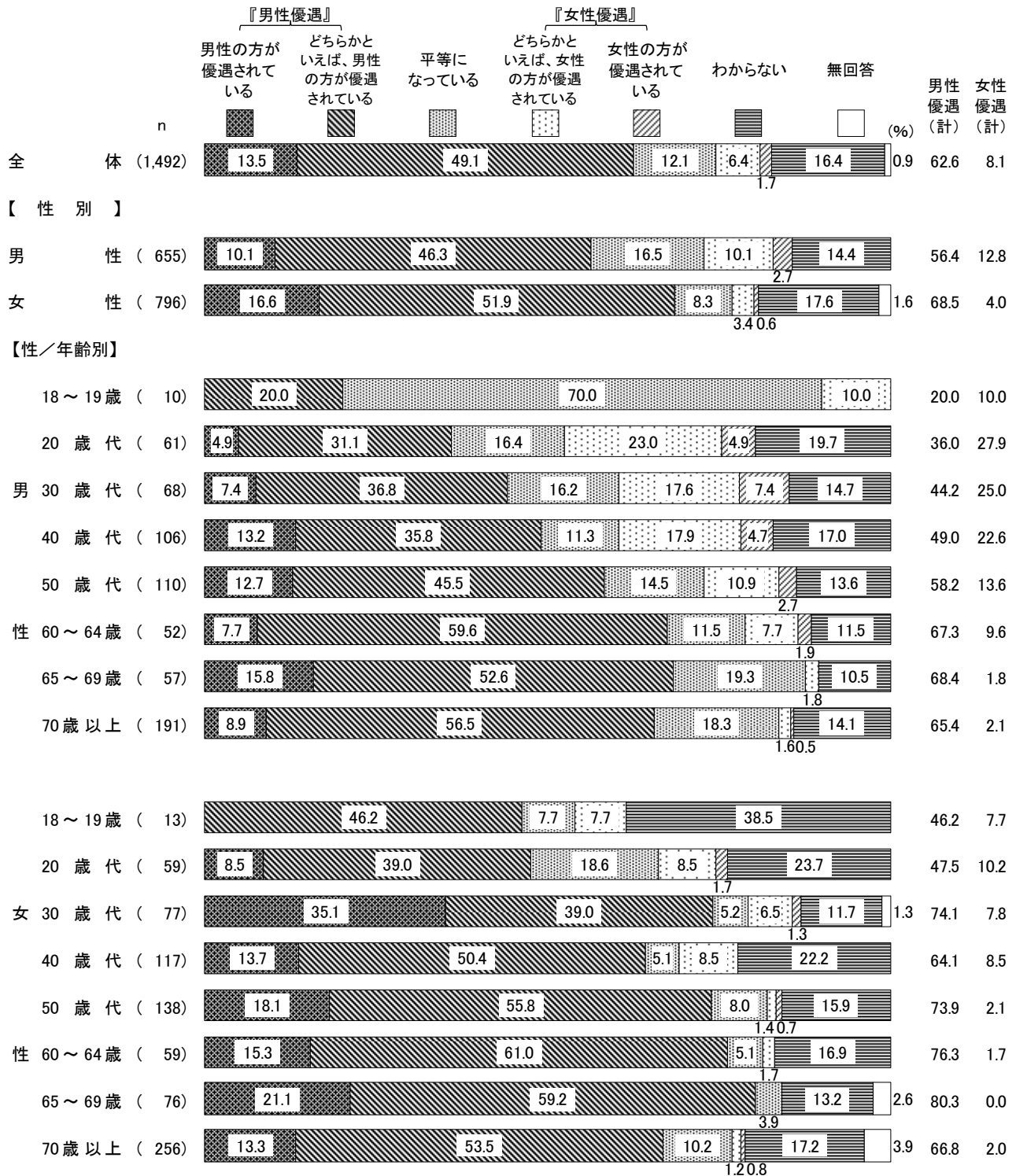
全体でみると、「男性の方が優遇されている」(13.5%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(49.1%)の2つを合わせた『男性優遇』(62.6%)が6割強となっている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(6.4%)と「女性の方が優遇されている」(1.7%)の2つを合わせた『女性優遇』(8.1%)が1割未満となっている。「平等になっている」(12.1%)が1割強となっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、令和 4 (2022) 年以降は『男性優遇』の比率が減少しており、今回（令和 7 (2025) 年）は前回（令和 6 (2024) 年）から 5.0 ポイント減少している。一方、『女性優遇』の比率は年により増減はあるものの、大きな変化はない。

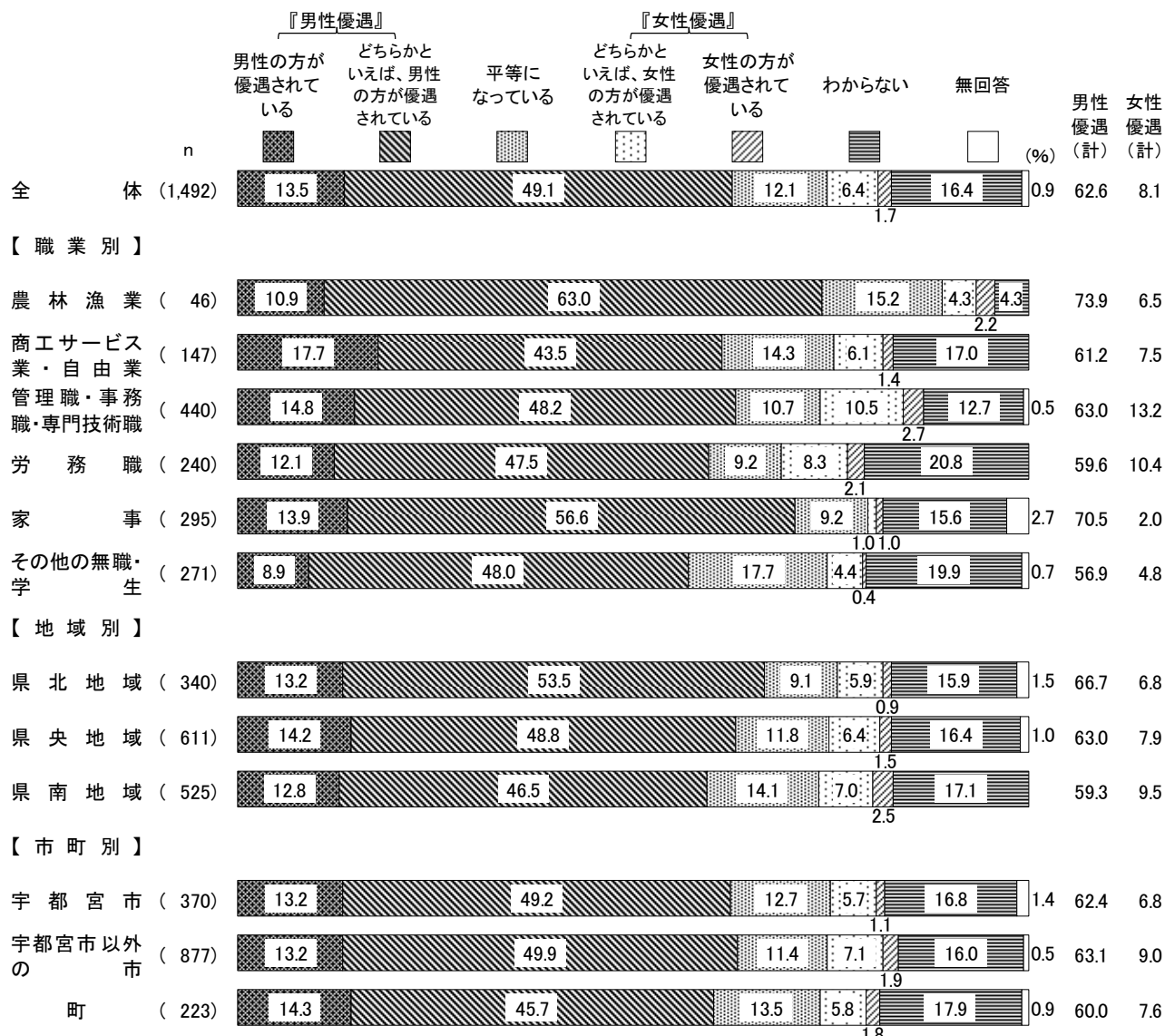
〔性別・性／年齢別〕



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(68.5%)が〈男性〉(56.4%)より12.1ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(12.8%)が〈女性〉(4.0%)より8.8ポイント高くなっている。「平等になっている」では〈男性〉(16.5%)が〈女性〉(8.3%)より8.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性65～69歳〉が80.3%、〈女性60～64歳〉が76.3%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性20歳代〉が27.9%、〈男性30歳代〉が25.0%、〈男性40歳代〉が22.6%と高くなっている。

〔職業別・地域別・市町別〕



職業別でみると、『男性優遇』では〈農林漁業〉が73.9%、〈家事〉が70.5%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が13.2%と高くなっている。「平等になっている」では〈その他の無職・学生〉が17.7%と高くなっている。

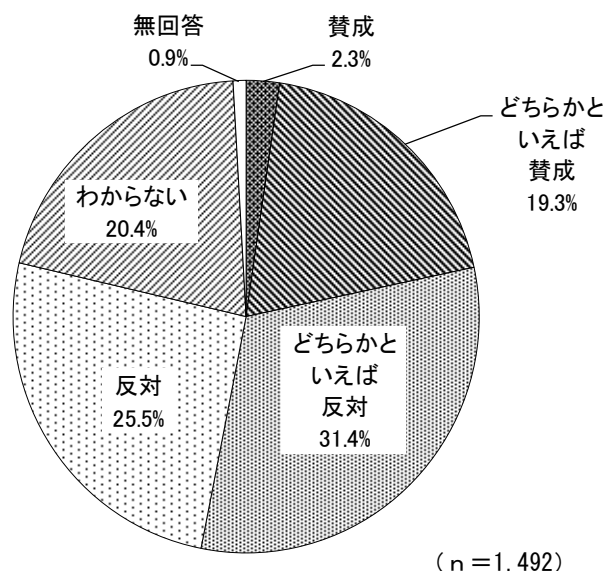
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 固定的な性別役割分担意識

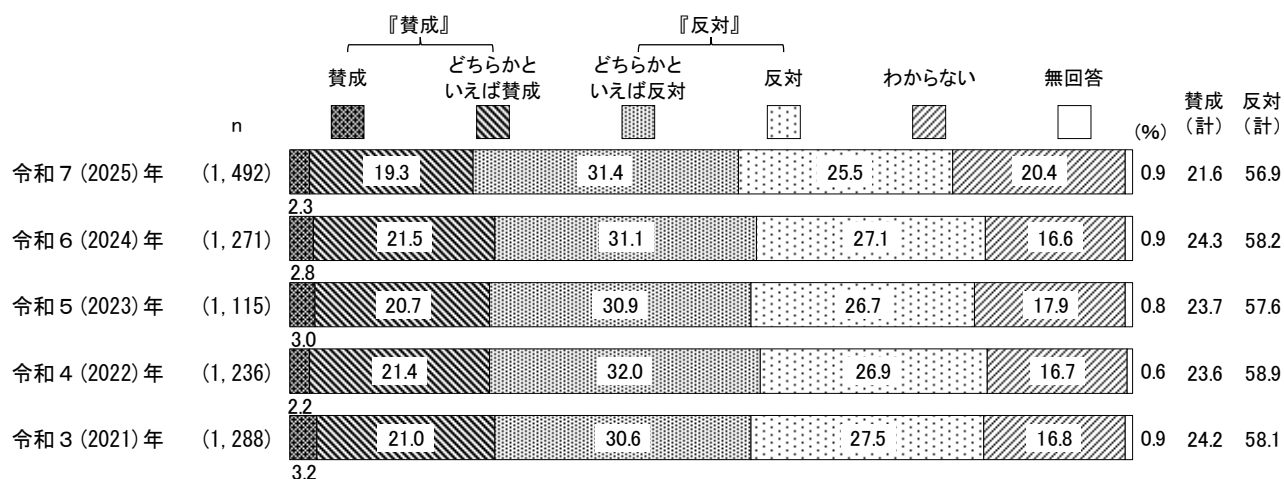
問16 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,492]

1 賛成	2.3%	4 反対	25.5%
2 どちらかといえば賛成	19.3%	5 わからない	20.4%
3 どちらかといえば反対	31.4%	(無回答)	0.9%



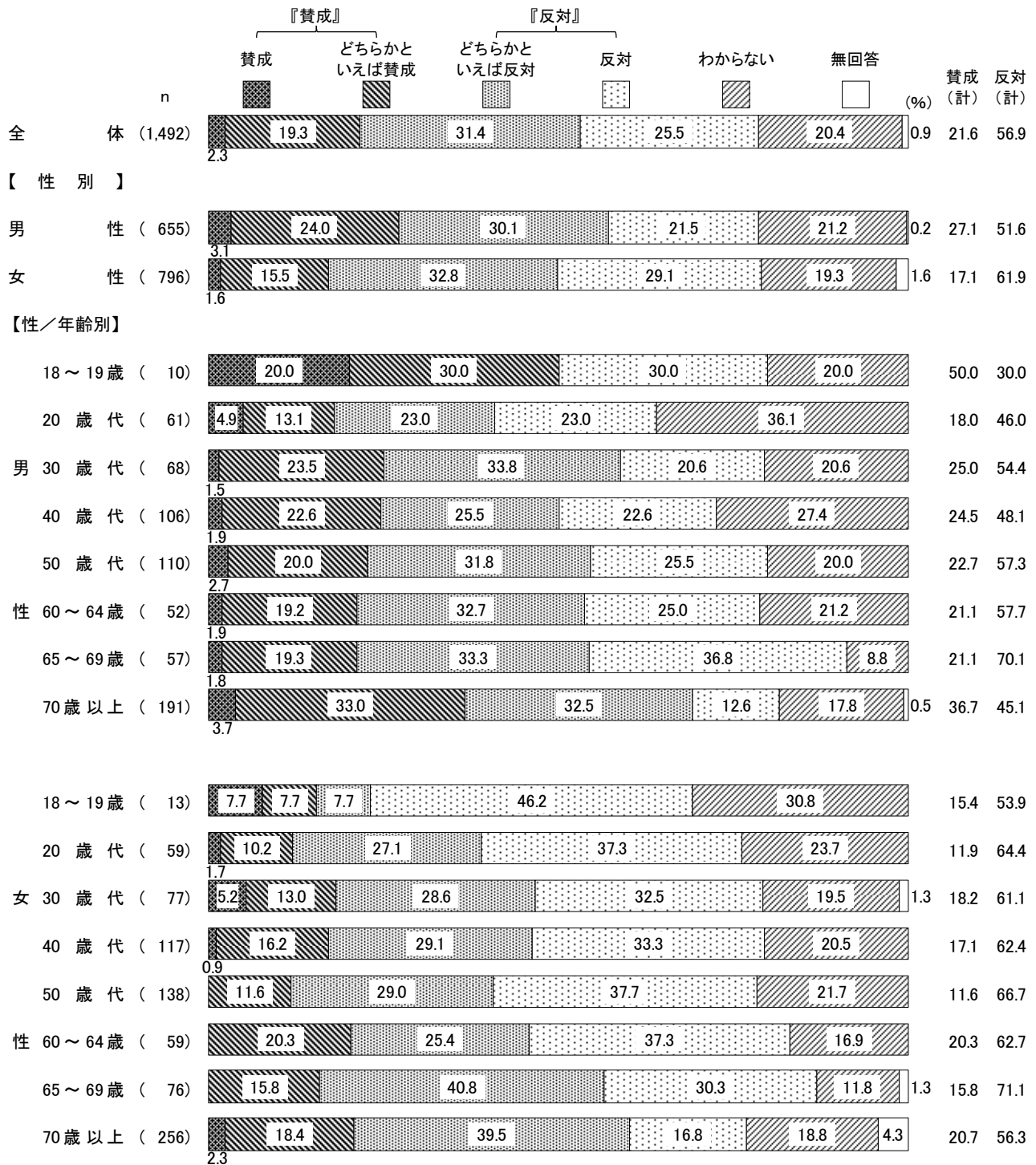
全体でみると、「賛成」(2.3%)と「どちらかといえば賛成」(19.3%)の2つを合わせた『賛成』(21.6%)が2割強となっている。一方、「どちらかといえば反対」(31.4%)と「反対」(25.5%)の2つを合わせた『反対』(56.9%)が5割台半ばを超えている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると大きな傾向の違いはみられない。

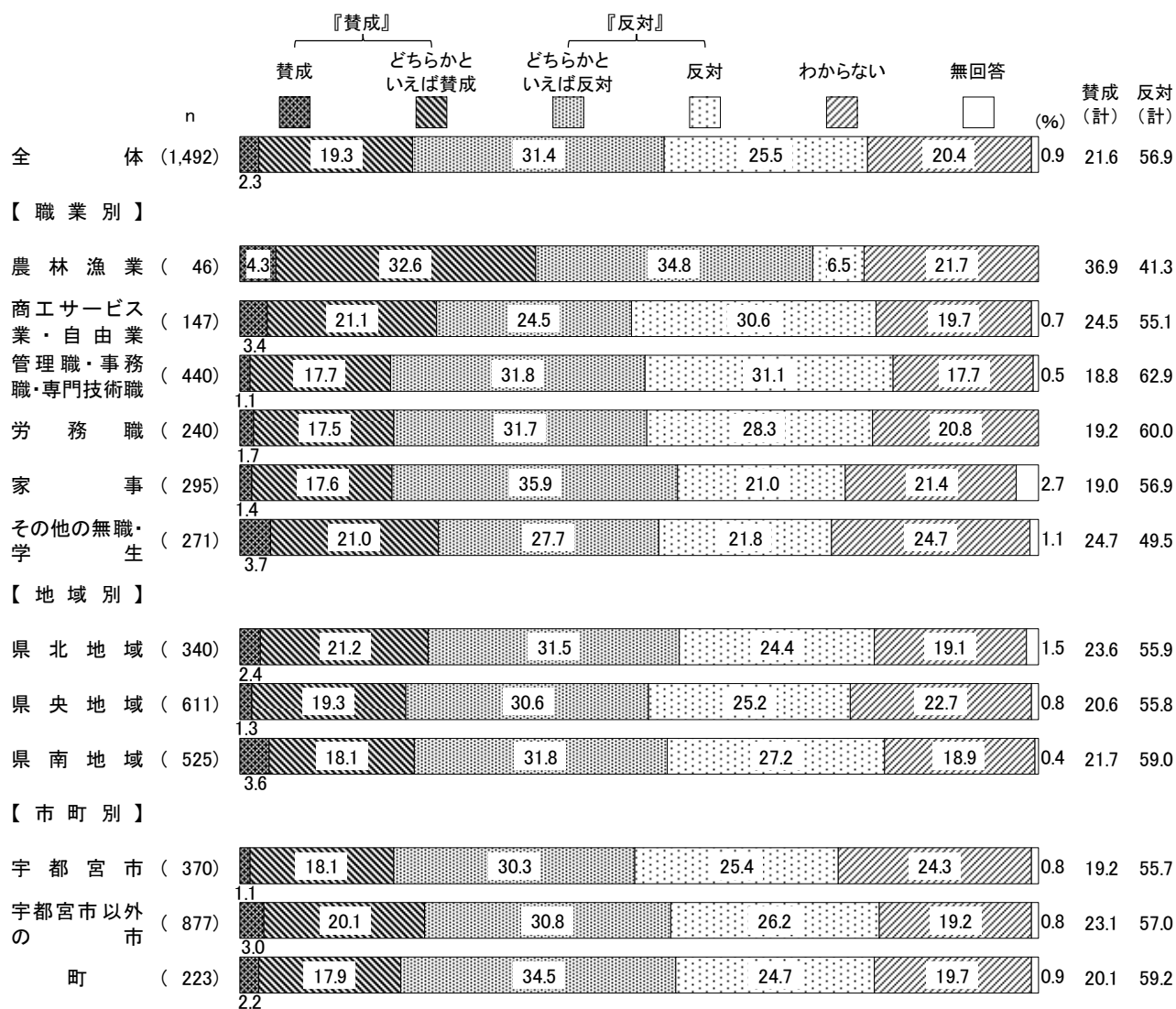
〔性別・性／年齢別〕



性別でみると、『賛成』では〈男性〉(27.1%)が〈女性〉(17.1%)より10.0ポイント高くなっている。一方、『反対』では〈女性〉(61.9%)が〈男性〉(51.6%)より10.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『賛成』では〈男性70歳以上〉が36.7%と高くなっている。『反対』では〈女性65～69歳〉が71.1%、〈男性65～69歳〉が70.1%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、『賛成』では〈農林漁業〉が36.9%と高くなっている。『反対』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が62.9%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

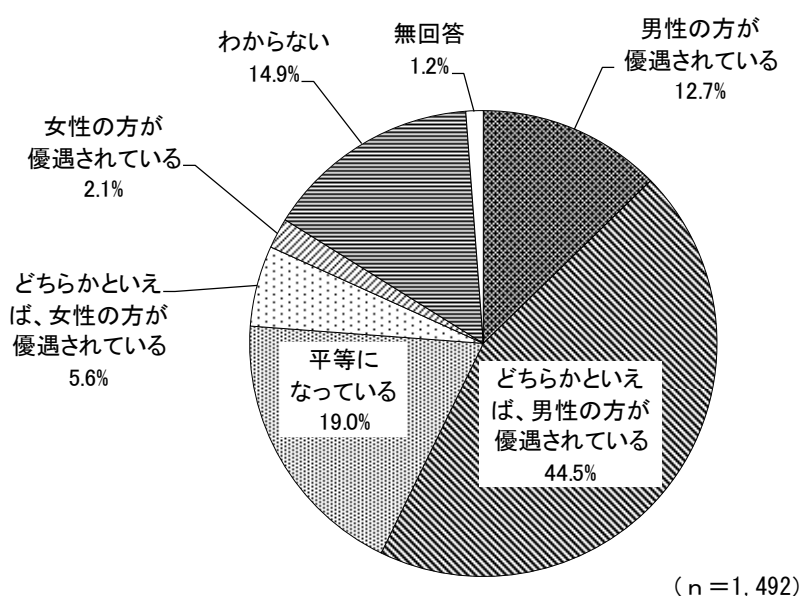
市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(3) 働く場での男女の地位の平等感

問17 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)

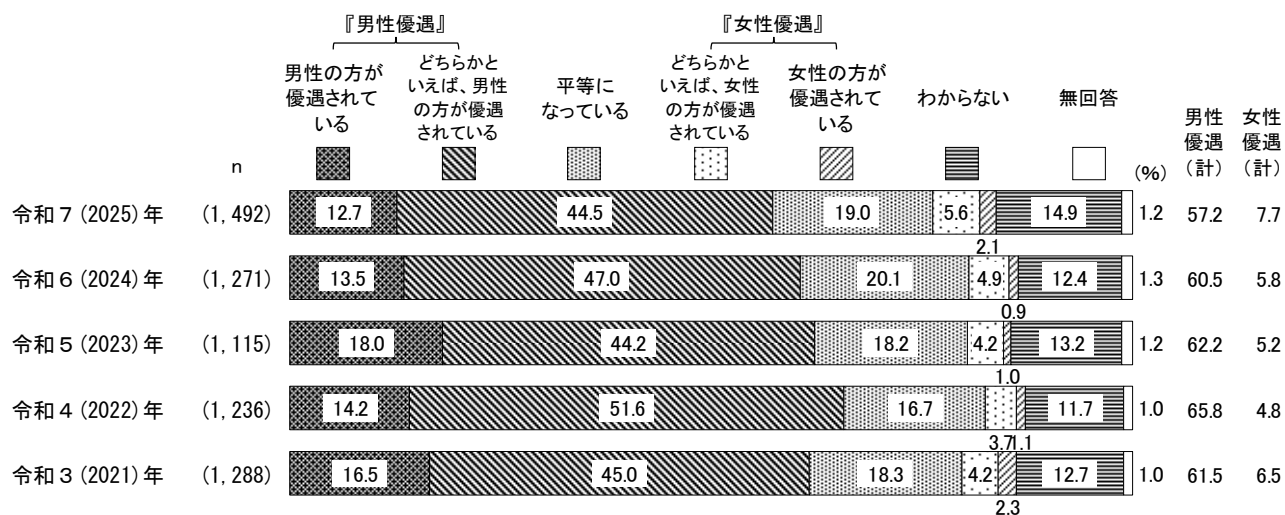
[n=1,492]

1	男性の方が優遇されている	12.7%
2	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	44.5
3	平等になっている	19.0
4	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	5.6
5	女性の方が優遇されている	2.1
6	わからない	14.9
	(無回答)	1.2



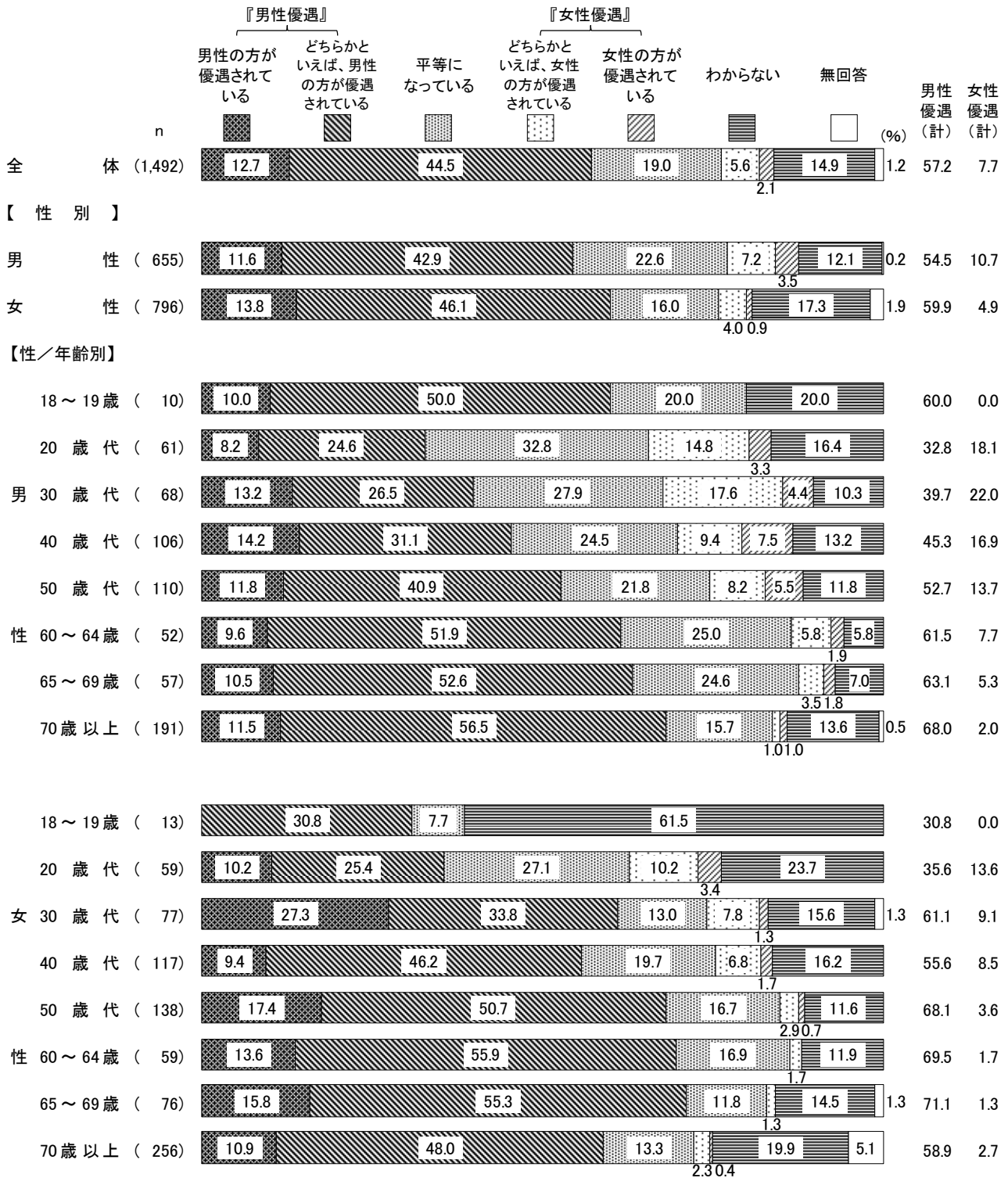
全体でみると、「男性の方が優遇されている」(12.7%)と「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」(44.5%)の2つを合わせた『男性優遇』(57.2%)が5割台半ばを超えている。一方、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」(5.6%)と「女性の方が優遇されている」(2.1%)の2つを合わせた『女性優遇』(7.7%)が1割未満となっている。「平等になっている」(19.0%)が2割弱となっている。

[過去の調査結果]



過去の調査結果と比較すると、令和4(2022)年以降は『男性優遇』の比率が減少しており、今回(令和7(2025)年)は前回(令和6(2024)年)から3.3ポイント減少している。一方、『女性優遇』の比率は増加しており、今回(令和7(2025)年)は前回(令和6(2024)年)から1.9ポイント増加している。

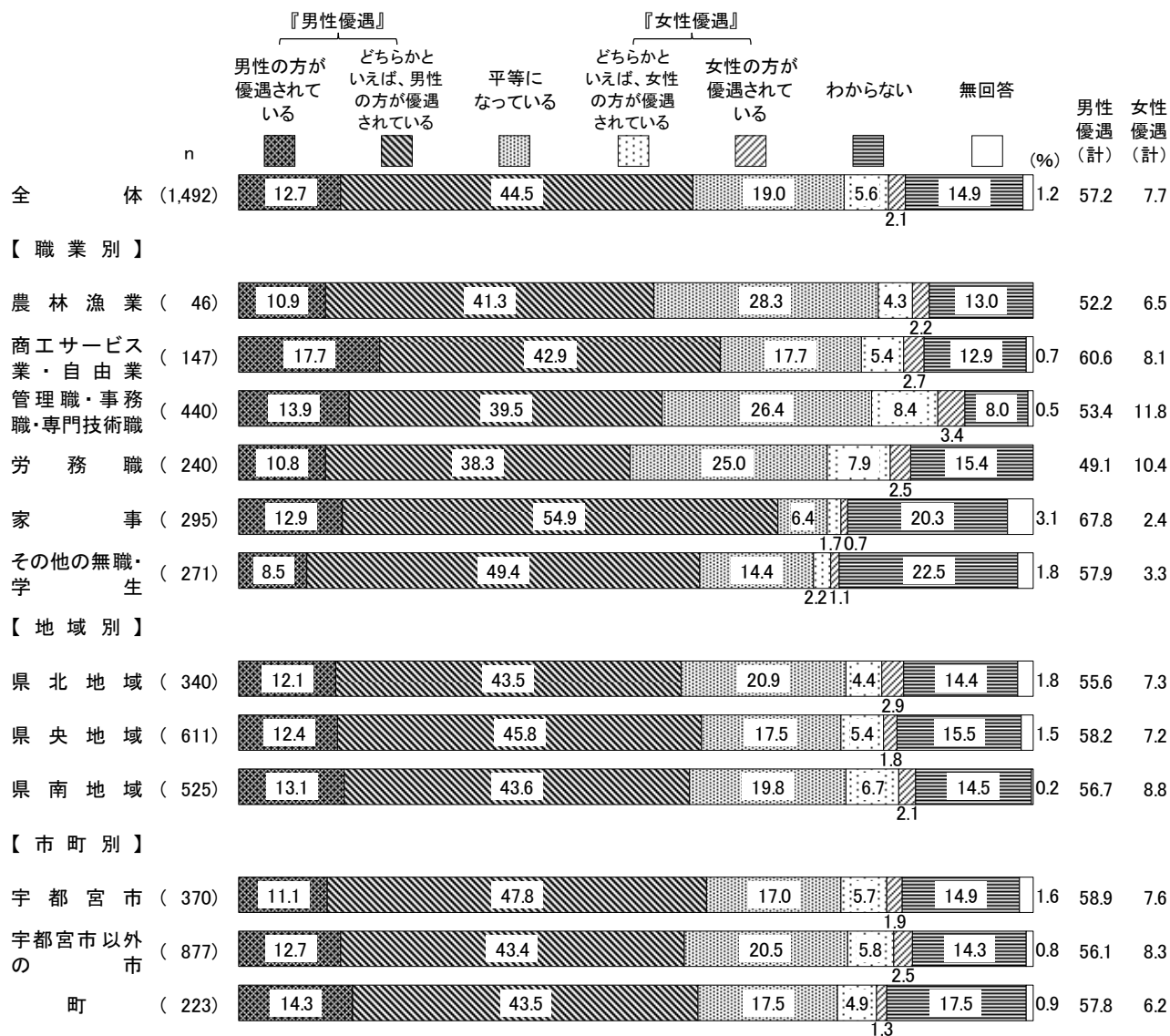
〔性別・性／年齢別〕



性別でみると、『男性優遇』では〈女性〉(59.9%)が〈男性〉(54.5%)より5.4ポイント高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性〉(10.7%)が〈女性〉(4.9%)より5.8ポイント高くなっている。「平等になっている」では〈男性〉(22.6%)が〈女性〉(16.0%)より6.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『男性優遇』では〈女性65～69歳〉が71.1%、〈女性60～64歳〉が69.5%、〈女性50歳代〉が68.1%、〈男性70歳以上〉が68.0%と高くなっている。一方、『女性優遇』では〈男性30歳代〉が22.0%と高くなっている。

〔職業別・地域別・市町別〕



職業別でみると、『男性優遇』では〈家事〉が67.8%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。